

2014年(平成26年)8月30日(土) NO 77号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

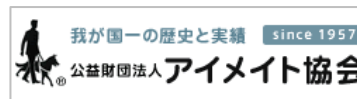


## 【加盟団体】



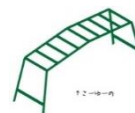
RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会青年部	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
NPO 法人	日本危機管理学総研	<a href="http://www.kikikanri.jp/">http://www.kikikanri.jp/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体企業】



## ごあいさつ

広島土砂災害で亡くなられた多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。  
 人や生物はいつかは必ず死ぬものですが、この死についてどう捉えるか、近頃考えさせられます。  
 私の先祖は、祖父の兄が作成してくれた家系図により、高祖父(祖父の祖父)までわかっています。  
 父、祖父、曾祖父、高祖父の4人のうち3人は不慮の事故により75%の高確率で亡くなっています。  
 小さいころの私は、坂の上から目をつぶって自転車で下り、坂下の鉄条網に突っ込み大怪我をしたり、  
 学校にある「ウンテン」という器具の上に立ち、四角い升目をスルッと降りようと取っ手にアゴと頭をぶつけて死ぬ思いをしたりと、今では考えられないような突拍子もない行動を良くとっていました。  
 今にして思うと、先祖が、こいつはそのうち事故で死んでしまうと、護身用に格闘技をさせたり、危機管理の警備会社に入社させたのかも知れません…。近頃はリスク管理を考え行動するようになりました？このリスク管理の心得は息子にもなるべく伝えていきます。一日の終わりにベランダでビールを飲む際は、まず先祖に一日のお礼と感謝を告げてから頂くことをルーチンにしています。  
 お蔭で近頃は先祖の強い力に守られている気がしています。 代表取締役 木戸 良樹



## 現代の偉人 横田 南嶺（円覚寺管長）



姿勢を正してゆけば、必ずころもまっすぐに正される。森信三先生は、「もししっかりした人間になろうと思ったら、先ず二六時中腰骨をシャンと立てる事です。ころというものは見えないから、まず見える体の上で押さえてかからねばならぬのです」とお教え下さっています。また、

「腰骨を立てることはエネルギーの不尽の源泉を貯えることである。

この一事をわが子にしつけ得たら、

親としてわが子への最大の贈り物といってよい」

とも仰せです。

.....

腰骨を立てる要領は

第一に、先ず尻をウンと後ろに引き、

第二に、腰骨の中心を前へウンと付き出し、

第三に、軽くあごを引いて下腹にやや力をおさめるのです。



.....

円覚寺の坐禅会に長く通って、今、学校で児童カウンセリングをやっている青年がいます。

彼は、いじめにあつて不登校になった小学生のカウンセリングを担当していた。坐禅をしている彼は、普段から無意識のうちに腰骨を立てて相手の話を聞いていた。

そういう風に接していたら、ある時にその子が

「先生はいつも姿勢がいい。先生を見ていると気持ちが良い。ぼくも先生のまねをしたい」

と言った。

そして、その子はカウンセリングの間、青年と同じように腰骨を立てて話をするようになった。

腰骨を立てるようになってしばらくすると自然と学校に行くようになり、

そしていじめられなくなったそうです。



.....

腰骨を立てるといっただそれだけの事ですが、それによって、

人の本来持っている素晴らしいところが自然とはたらいてくる。

ころころをシャンとしようと思ったら、まず自ら腰骨を立て背筋を伸ばしましょう。

組織を正すのもまた、わが身を正すことから始まります。

////////////////////////////////////  
臨濟宗総本山 円覚寺(えんがくじ) 鎌倉市山ノ内 409

## 今月の良い話 清水 咲栄さん（90歳の郵便配達）



20年にわたって雪国の郵便配達を続ける中で、命の危険に直面することが何度かありました。

ある時、配達を終えて歩いていると、突如としてゴオーツという地鳴りのような音が聞こえてきました。

振り返ると、山の上から物凄い量の雪が襲ってきたのです。

私は慌てて逃げましたが、一瞬のうちに私の背中をかすめて崖下へと流れ落ちていきました。

あと何秒か遅れていたなら、間違いなく雪崩に巻き込まれていたでしょう。それだけではありません。

とてつもない暴風雪が吹き荒れていた時には、どんなに踏ん張っても体が思うように動かず、どんどん崖のほうへと流されていく。

そして崖まであと2メートルという寸前のところでピタッと風が弱まったということもありました。

郵便局の方からは

「吹雪の日は大変だから、休んで次の日にすればいいのに」とよく言われます。

しかし、そんなわけにはいきません。

どんなに凄い吹雪だろうと、郵便が届くのを楽しみに待っている人たちがいるのですから。

ある方がこう言いました。

「誰かの笑顔を、この山に住む人々に届け、一緒に喜ぶこと。

誰かの悲しみを、この山に住む人々に伝え、一緒に涙すること。それがあなたの仕事」

ですから、今日までの20年、私は天候を理由に休んだことは一切ありません。

しかし、たったの一日だけ、どうしても体が言うことを聞かず、休んだことがありました。

それは一番下の娘が亡くなった日のことです。

そう、父ちゃんが(交通事故で)亡くなった時、奇跡的に一命を取り留めたあの子です。

彼女はあの交通事故の後、結婚して幸せな家庭を築きましたが、若くして乳がんを患ってしまったのです。享年46でした。

やはり親としては自分の娘に先立たれるほど切ないものではありません。

こうして振り返ると、人生というのはいいいことよりも悪いことのほうが多いものなのでしょう。

しかし、四季が巡ってくるように、厳しい冬の後には必ず春が来ます。

人生という畑に涙の種を蒔けば、その種がいつか喜びの花を咲かせてくれる。

だからこそ、人生は忍耐と努力に尽きる——。それが90年の人生を通して得られた実感です。



私がよく言っているのは

「ずくを出して頑張らねか」ということ。

“ずく”とはこのあたりの方言で、やる気という意味です。人生、ずくを出さなければ何もできません。

苦労をともに乗り越えてきた父ちゃんを亡くし、自分の娘にも先立たれてしまいましたが、

ずく一筋で生きてきたからこそいまの私があるのではないのでしょうか。

清水咲栄さんは、昨年8月、天寿を全うされました。

一周忌を悼み、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

記事提供 到知出版社

## 事件ファイル NO77 飼い犬の糞

日時 平成 26 年 8 月 10 日(日)16 時 42 分ごろ  
 場所 千葉市若葉区 分譲マンション エントランスホール風除室  
 内容 犬糞の放置  
 詳細 原因は居住者のお婆さんが犬の散歩から帰宅し、玄関のオートロックを開錠しようと集合インターホンに鍵を差し込んでいる途中、右側の小型犬が糞をしたものと判明。お婆さんは、マンションペット委員会の規定を守り、館内は抱っこして居室まで連れて行く行動をとっていたが、糞をしたことに気づかず部屋へ行ってしまったもの。決して悪意のない行為であったこと、今回のように気づかない場合があることが判明した。



## プロ太の小話集 NO77 『魔法のチュー』

金髪の男女がイチャついていた。

金髪ちゃん 「なんだか頬が痛いの」

金髪君 「これでどうだい？まだ、痛むかい？」 と頬にキスをした。

金髪ちゃん 「今度は唇が痛いの」

金髪君 「これでどう？まだ、痛む？」 と唇にキスした。



隣のベンチにいた初老の男がたずねた。

初老の男 「お若いの・・・、あんたの魔法のチュ〜で、わしの痔も治してくれんかね？」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

私が所属する川口モーニングロータリークラブが、23 年にわたり継続的に支援させてもらっている「アイメイト協会」から贈呈された盲導犬(アイメイトと呼ぶ)に、フォークのようなもので刺した不心得者の事件がマスコミに発表されています。まして地元で起こった出来事に、事件を知った際はととてもとても悲しくなりました。支援する傍ら、彼らと接する機会が恵まれている私たちが感じることは、通常は普通の犬と同じ彼らも甘えん坊だということです。この事件をきっかけに危惧することは、街中で盲導犬を見かけた際に、周りの人が犬に声を掛けたり、勝手になでたりすること・・・。本当は遊びたい盛りの彼らは、訓練されていても、このような行為をされると気が散って集中できなくなります。事故のきっかけにも成り得ますので、声を掛けず、どうかそっと見守ってあげて下さい。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)